第17講　なりの識別／めり・らし／推量・推定の助動詞まとめ

PART1　なりの識別

「なり」の識別

【識別対象】

1「　　」・**存在の助動詞**「なり」

2「　　・　　」**の助動詞**「なり」

3「　　」の「なる」

4「　　」ナリ活用の活用語尾

★**〈見分け方〉**＝「　　」

1「　　」か「　　形」＋なり＝**断定・存在の助動詞**「なり」

（例）

今宵は十五夜**なり**けり。

成就する**なり**。

西のそこそこ**なる**家に…

２

「　　形」（ラ変型＝「　　形」）＋なり＝**伝聞・推定の助動詞**「なり」

（例）　もの思ひにあくがる**なる**魂は、…

※撥音便に付く「なり」

（　　）**なり＝伝聞・推定**

（例）　いとよきことにこそあ**なれ**。
絶えざ**なれ**ば…

※四段活用音声動詞に付く「なり」

（例）　世をうぢ山と人はいふ**なり**。

3

「　　」と訳せる＝ラ行四段活用**動詞**「なる」

「　　」「　　」「　　」「　　」に付くことが多い。

〜

なり＝**動詞**「なる」

（例）

九月（ながつき）ばかりに**なり**て、…

河内へも行かず**なり**にけり。

うとましう**なり**ぬ。

4　「　　　・　　　」＋なり＝**形容動詞**ナリ活用の活用語尾

「　　」「　　」「　　」に付くことが多い。

「　　＝　　」
〜　　　なり

＝形容動詞

あはれなり
貴（あて）なり
優（いう）なり
つれづれなり
様子

※〜か**なり**→**伝聞・推定**
（例）読むべか**なり**

（例）

みやびやか**なる**を、あはれと思ひたまふ。

御心のうち、苦しげ**なり**。

この児のかたち、けうら**なる**こと世になく、…

定めたまふまじか**なる**を…

問一　傍線「なり」を文法的に分類した組み合わせとして、最も適当なものを次の中から選べ。

はかなく①なりし人の領ずる所にて、…

ある聖の物に②なりてと聞きしを、…

さまざま思ひ出づることなど、言ふもなかなか③なり。

露消えし跡は野原と④なりはてて　ありしにも似ず荒れはてにけり

ア　①と②③④
イ　①②と③④
ウ　①②③と④
エ　①②④と③
オ　①③④と②

問二　傍線部の中から品詞の異なるものを次の中から選べ。

ア　孝養の心なき者なり。
イ　その人の心になりて思へば、…
ウ　世をば行なはまほしきなり。
エ　不便のわざなり。

問三　傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

須磨に なり[a] ぬ。
家どもの、物はかなげ なる[b] に、柴垣うちしつつ、…
慌しく急ぎ過ぐる なる[c] べし。

ア　ラ行四段動詞
イ　形容動詞語尾
ウ　断定の助動詞
エ　伝聞の助動詞

a＝　　　b＝　　　c＝

問四　傍線部の文法的な説明として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

「事悪しく[a]なりなんかし」と思ふに、…
命も延びぬべき様し給へる人[b]なり。
聞き入れさせ給はざん[c]なりと承るを、…

ア　ラ行四段動詞　　イ　形容動詞語尾
ウ　断定の助動詞　　エ　伝聞の助動詞

a＝　　b＝　　c＝

問五　傍線部の文法的な説明として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

髪長くをかしげ[a]なれば、…
蔵人(くらうど)の少将の御方[b]なる小帯刀(こたちはき)とて、いとされたる者…
＊わかうどほり腹[c]なりかし。

＊わかうどほり腹…皇族の女性から生まれてきたことをいう。

ア　動詞「成る」　　イ　形容動詞の活用語尾
ウ　断定の助動詞「なり」　　エ　伝聞推定の助動詞「なり」

a＝　　b＝　　c＝

〈Memo〉

第17講　PART1　確認問題

①「女もしてみむとてするなり」の「なり」の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ラ行四段動詞　　イ　形容動詞語尾
ウ　断定の助動詞　　エ　伝聞の助動詞

②傍線部「なり」のうち、他と品詞が異なるものを次の中から選べ。

ア　めづらかなり
イ　そぞろなり
ウ　御前なり
エ　恥づかしげなり

③「かつみ刈るころもやや近うなれば、…」の文法的説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　形容動詞の活用語尾
イ　動詞「なる」の已然形
ウ　断定の助動詞「なり」の已然形
エ　伝聞の助動詞「なり」の已然形

④　傍線部と文法的意味が同じ「なり」を用いているものを、次の中から選べ。

「翁にいはく、『いと心苦しく物思ふなるはまことか』と仰せ給ふ。」

ア「ものしたまふなりといふことだに、…」

イ「兵部卿の御妹の君の御腹なりけり。」

ウ「三月（みつき）ばかりになる程に、…」

エ「小さき子どものいとほしげなるを、…」

⑤　傍線部のうち、他と文法的意味が異なるものを次の中から選べ。

「これ庄司（しやうじ）が旧館［ア］なり。…
中にも、二人の嫁がしるし、先（ま）づあはれ［イ］なり。
女［ウ］なれどもかひがひしき名の世に聞えつるものかなと…
五月朔日（さつきついたち）の事［エ］なり。」

第17講 PART1 解答

問一　エ
問二　イ
問三　a　ア　b　イ　c　ウ
問四　a　ア　b　ウ　c　エ
問五　a　イ　b　ウ　c　エ

第17講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 上の「する」は、動詞「す」の連体形。それに続く「なり」なので、断定の助動詞である。よって、ウが正解。

② ア・イ・エは形容動詞の活用語尾。ウは断定の助動詞である。よって、ウが正解。

③ 「なる」が接続する「近う」は、形容詞ク活用「近し」の連用形「近く」がウ音便化したもの。したがって「近うなれ」は「近くなる」と訳すことができるので、ここでの「なれ」は、動詞「なる」の已然形だとわかる。よって、イが正解。

④ 「物思ふなる」の「なる」とアの「なり」は、伝聞・推定の助動詞「なり」。イは断定の助動詞。ウは動詞の「なる」。エは形容動詞の活用語尾。よって、アが正解。

⑤ イは形容動詞の活用語尾。ア・ウ・エは断定の助動詞。よって、イが正解。

〔解答〕

① ウ　② ウ　③ イ　④ ア　⑤ イ